

前浜通信



黒潮祭終了後生徒全員で 於 本校体育館

第51回 黒潮祭の様子

秋らしく気持ちの良い天気が続いておられますが、島民の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

さて、令和四年十月二十九日、三十日の両日恒例の黒潮祭が行われましたので、ご報告したいと思います。

コロナウイルス感染防止の観点で、二年間にわたりオンステージのみで一日だけの行事でしたが、今回は、久しぶりに二日間の公開となりました。

東京都教育委員会からは、文化祭における飲食店の企画や終了後打ち上げと称する飲食を行わないようにとの通知が出ました。

本来なら、お客様にお昼ご飯を提供すべく模擬店等を設置する予定でしたがそれはできなくなりましたので、文化祭の発表、展示や各クラスの出し物、有志参加による舞台発表、授業内の展示等を中心とする内容にしました。

一日目には、視聴覚教室で3年ぶりにサロンコンサートも行い、教職員によるウクレレの演奏やブルーカレンツの方にも参加いただき、とてもお洒落な音楽会ができました。

クラス企画は、自分たちが子供の頃楽しませてもらった想い出を、この黒潮祭で今度は子供たちに楽しませたいという想いで準備していました。

校長 中間 均

今年の一年生の出し物は、教室による縁日でした。ホームルームの時に金魚すくいをやろうと決まったのですが、金魚をすくったところですぐに死んでしまうので、自然環境上の問題であまり良くないのではということが話し合われて、それならば海の魚すくいをやろうということになり、海へ行き小さな魚をたくさん集めて来て金魚すくいならぬ、魚すくいを行いました。

これは、神津高校ならではのオリジナルの出し物であります。内地の学校の縁日であれば、スーパーボールすくい等でお茶を濁す学校が多いですが、このように考えたことこそ意味のある文化祭であると思います。

二年生のお化け屋敷は、中で泣き出してしまいう子供も出てくるくらい立派な企画でした。廊下にたくさんの子供たちで行列ができていました。最後の文化祭の三年生は、柔道場を陣取って、終始子供たちを楽しませていました。

来年は、もう少し文化の香りを増したものを作れればと思います。今年も、久しぶりの文化祭でしたが、上出来でした。

黒潮祭を行って

生活指導部

山崎 聖人

神津高校に赴任して初めての文化祭を終えました。内地の学校に比べると生徒の人数が少なく、どれだけの企画ができるか、心配しておりましたが、杞憂に終わりました。

実行委員会中心に活動し、クラスの企画に加え、ステージ発表、授業や部活動の展示など、一人一人やる事がたくさんある中で、これだけのものを作り上げる神高生の底力を体感しました。行事で力を発揮する神高生に今後も期待が膨らみます。以下、生徒の感想をご覧ください。

文化祭実行委員長 三年 三好 遼

今年度は二年ぶりで、二日間開催することができました。私たちは、初めての二日間開催ということもあり当初は不安がありました。生徒達や先生方の協力の下、多数の企画に加え、盛大なオンステージとなり至高の黒潮祭となりました。来年度は今年度の反省を活かし、今年を超えられるよう頑張ってください。

一年 笹本 楓奈

縁日をやってみて、最初はちゃんと成立するかが不安でした。ですが、クラスのみんなのできないことは新しく案を考えて、縁日に来る方々がどのようにすれば楽しめるのか、どのようにすればみんなの想い出に残るのかを考えて行いました。結果的に成功できて良かったです。



二年生 齋藤 陽

二年ぶりの本格的黒潮祭。私たちは「お狐様の呪い」と銘打ったお化け屋敷をつくりあげた。それぞれの得意分野を分担し制作できたことに達成感を感じた。入口のプログラム制作、鳥居作り、藁人形作り、演出：二年生のメンバーだからこそ完成できたものだった。



三年生 清水 ひなの

三年有志の出し物の人探しでは、子どもたちが「マリオだ！スタンプ押しして」と元気な声で駆け寄ってきて、スタンプが集まった時にはお菓子をもらいに走り回る姿が可愛らしく癒されました。脱出ゲームに加え、人探しができ、とても充実した二日間を送ることができました。

東京都・神津島村

合同防災訓練

秋晴れに恵まれた十一月九日水曜日、南海トラフ地震が起こったことを想定しての津波から避難する訓練が行われました。

当日、高校生はトリアーの訓練、津波避難施設に避難する訓練と島民とともに小学校に避難する組に分けて、それぞれの体験をしました。

一年 坂本 凌

この島は、南海トラフ大地震の時に、30m近い高さの津波来るとされています。そのため、釣りをしている人や船から降りた人等のために棧橋の近くに津波避難タワーができました。

私は、そのタワーに登ってみて、実際に大きな地震があった時には落ち着いて行動できるかが不安がありました。今回、訓練のおかげで少し不安解消につながりました。

二年 濱川 來來

私は避難訓練の方に参加しました。避難訓練の班は、小学校に集まってから「よたね」での訓練を見に行きました。そこでは、いろいろな体験もさせていただきました。特に、煙体験では中に入ると真っ白で何も見えませんでした。地震で火事が起きた時にこんな感じなのかと少し怖くなりました。



一年 石野田 流

私は、トリアーの担架班でした。担架の持ち方などの説明を事前に受けて、訓練中は重傷者を診療所まで運びました。担架班は、診療所で行っている救護訓練を見ることができましたので、訓練でしたが本番さながらの緊張感があり、とても良い体験ができました。